

夏休みを想う



本校では7月20日に全校集会があり、翌週の7月23日(月)から夏期休業となります。生徒にとっては待望の夏休み期間(8月24日までの約1か月)になります。

昨年、この時期に話題になった、静岡県吉田町は町内小中学校の来年度(平成30年度)の夏休みを大幅に短縮して16日間にする計画を発表し、マスメディアに取り上げられ、物議を醸したことを覚えています。筆者は、2017年8月31日の『NHK ニュースおはよう日本』で「けさのクローズアップ」のコーナーにおいて高瀬・和久田両アナウンサーが自身の夏休みの想いでを振り返りながら、吉田町の夏休み大幅短縮する理由を取材した記者のリポートを扱っていたのを覚えています。このリポートでは、吉田町が夏休みを大幅に短縮する理由は2つあり、一つは「国のゆとり教育」の見直し、もう一つは「働き方改革」だったと思います。

国のゆとり教育の見直しで、小学校の授業時間が300時間増え、この時間を平日に振りかえると、6時間目の授業が増えることとなります。そこで夏休みを減らすことを考えたのです。また、教員の長時間労働の削減を考えたのです。近年、OECD諸国の国々と比較して、日本の教員の長時間労働が問題にされています。すなわち「働き方改革」です。吉田町の小学校の場合、勤務時間は8時～16時30分までです。6時間授業だと16時頃まで授業を行うことになり、ホームルームや掃除、テスト作成・採点や提出課題のチェックなどの業務をする時間がほとんど取れず、残業をせざるを得なくなります。

この吉田町の計画に「安心して働きに行ける」「家族で旅行に行けなくなる」「クラブチームの遠征に行けなくなる」などの賛否両論の意見がありました。マスメディアの報道では、否定的な意見を取り上げる報道が多かったような気がしました。筆者は、この計画が実行に移されるのか、その後が気になって調べてみました。

昨年10月27日、吉田町は総合教育会議を開催し、夏休みの大幅短縮を含む小中学校の教育改革プランの実施時期を2018年度から2年先送りしたことが発表されていました。昨年の9月以来、何回か教育委員会を開催し、保護者等の意見を踏まえて方向性を検討した結果、小学校の新学習指導要領が全面実施される2020年度に先送りし、その間に保護者や教職員に計画を理解してもらうように、丁寧に説明していくことと、長期休業を短縮することの課題解決策や調整に、一定の期間が必要と判断したた

めです。

この吉田町の問題は、夏休みの意義を再確認させてくれた面があったと思います。夏休みと聞くと、夏休み明けの直前に宿題を終わらせなくてはと慌てていたことを思い出します。夏休み、正式には夏季休業といます。夏季休業は学校教育法に基づき定められているのです。夏休みが始まったのは、明治14年の小学校教則綱領の7条に「小学校ニ於テハ日曜日、夏季冬季休業日及大祭日、祝日等ヲ除クノ外授業スヘキモノトス」と定められました。戦後、学校教育法施行令第29条の「学期及び休業日」が定められ、現在に至っています。

夏休みは、なぜあるのでしょうか。どういう目的に設けられたのでしょうか。夏休みは温帯に属する国々を中心に実施されています。これは夏の暑さを回避するためと考えられます。また、日本では欧米の教育制度を取り入れたので、それにならって夏休みが設けられたと考えられます。さらに日本古来の藪入りや、盆の行事に合わせて学校の夏休みが設けられました。しかし、期間等は全国一律ではなく、各地区の教育委員会が定めています。筆者が十数年程前の8月20日過ぎに、レンタカーで北海道の高校の横を過ぎたとき、もう既に授業が始まっている光景を目にしました。北海道や青森などの寒冷多雪地域では、8月20日頃には授業が始まっています。その代わりに冬季休業は長い期間になっています。近年、授業確保の目的で夏休みが短縮される傾向があるが、吉田町の大幅短縮は夏休みの意義を見直すよい機会となったと思います。

夏休みは暑さ回避の意味だけではありません。学校にクーラーが設置されている時代に、暑さ回避だけではなく積極的な意義を見つけてください。夏休みにしかできない体験をしてください。この夏休みで新しい自分を見つけ、さらなる成長につながるように過ごしてください。

1. 大学や専門学校等の学校説明会や体験入学に行く
2. 旅行や保護者の故郷に行く
3. 部活動に精をだし、大会の上位進出やコンクールの入賞等を目指す
4. 学校や予備校・塾の講習・補習に参加し、自らの基礎学力の定着・発展的な学力の向上を目指す
5. 就職活動の準備(企業見学等)を行う
6. 勤労経験(普段アルバイトをしていない人)を試してみる

など、夏休みの過ごし方をいくつか記しました。人によって過ごし方は違いますが、日常と異なる体験をして成長できたらいいですね。高校野球の世界では「冬を制する者が夏を制する」と言い、受験の世界では「夏を制する者が受験を制する」と言われます。きっと夏休みに貴重な体験をしたものが、人生で大きく成長するのだと思います。暑さに怯むな！